西中通信

発行　西会津中学校
文責　五十嵐　正彦（校長）

二学期も根・知・和

三七日間の夏休みが終わり、いよいよ二学期がスタートしました。連日の猛暑で熱中症を大変心配しましたが、大きな事故などもなく全員で元気にスタートできたことを本当に嬉しく思います。

夏休みの頑張りがありましたか。中学生のたくさん西中体験に入ってすぐに行われた剣道部の皆さんが頑張りました。卓球部と県大会では、卓球部とたくさんの音楽祭で心を一つにした美しい歌声を聞かせてくれました。八月二九日には英語弁論大会、九月六日には駅伝大会に向けた各部の練習、さらに、一生懸命に取り組みました。JRC発表の準備・練習も、駅伝、合唱、英弁、新人戦に向けた各部の練習、さらに、一生懸命に取り組みました。JRC発表の準備・練習もたと思います。今後に生きる経験ができたと思います。そしてその後、三年生が作ってきた素晴らしい伝統を引き継ぎながら、三年生を超える気持ちでしっかり取り組んでほしいと思います。

最後になりますが、この二学期も合言葉は「根・知・和」で、様々な個性（良さ）を持った九七人が、心を一つにして、会津一、福島県一、そして日本一の西中を目指して頑張っていきましょう。

〈第二学期始業式校長式辞〉

できる」力を身につけてくれることを期待しています。

さて、この二学期は大変重要な学期です。三年生にとっては、十一月以降進路の決定と高校受験に向けた本格的な準備が進んでいきます。まずは、光桐祭をはじめ全て全力でやり切って、すっきりした気持ちで進路の実現に立ち向かってほしいと思います。一・二年生にとっては、三年生からのバトンタッチとなります。

新支援員着任

二学期より新しい支援員が着任しましたので紹介します。

新採用
二瓶（にへい）　真規（まき）

町の配慮で複数の支援員を入れていただいていることに、心より感謝します。今後も、より効果的な支援を行うことができるように努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

十月十四日(日)県PTA喜多方大会ご協力よろしくお願いいたします

八月二十七日全校生の前で英弁と合唱の発表を行いました。

教科書を読めない子どもたち…

全国学力・学習状況調査の結果が出ました。県や国と正答率の比較で見ると、ほとんど差はありませんが、やや下回っている状況と言えます。

少人数の良さを活かした個々の実態に応じた指導で、いかに生徒一人一人の力を伸ばしていくかが重要であると考えます。

そこで、とても気になるのが、生徒は問題文を理解して適切に答えることができているのかということです。

読解力に視点を当てて考えてみたいと思います。

日本の中高校生の読解力は危機的といってよい状況にあります。その多くは中学校の教科書の記述を正確に読み取ることができていません。（中略）読解力というような要素は、ほとんど高校卒業までには獲得されます。（中略）多くの日本人の読解力もまた危機的な状況にあるということだと言っても過言ではないと思われます。（中略）

埼玉県戸田市では２０１６年以降、小学六年生から中学三年生まで全員がＲＳＴを受験しているとお伝えしました。（中略）それまで戸田市は埼玉県全体の中で、ずっと中くらいの成績でした。それが突如として、中学校は一位、小学校は二位で、総合一位の成績に急上昇したのです。

※ＲＳＴとは、人間の基礎的読解力を判定するために開発されたテストです。

新井紀子著「ＡＩvs.教科書を読めない子どもたち」より

９月の主な行事

- ６（木）○全会津駅伝大会
- １０（月）○ホールボディカウンター
- １１（火）○ボランティア活動
- １３（木）○高等学校説明会
- １８（火）～３０（日）○秋の交通安全運動
- ２０（木）○生徒会役員選挙
- ２６（水）・２７（木）○耶麻新人総合大会
- ※１・２年弁当
- ※２８（金）予備日
- １・２年弁当
- ２８（金）○３年実力テスト

八月二十三日ＪＲＣ中間発表会

10月19日(金)県JRC学校公開
好天・無事故・大成功を！！